

令和6年度第3回学校運営協議会 議事録

1 校長挨拶

- ・ 前回協議会以降の学校の様子
（130周年記念行事・事業、全日制・定時制の取組、年度末の行事等）
- ・ 第3回協議会について

2 学校関係者評価

(1) 令和6年度学校経営報告（副校長）

- ・ 全日制
- ・ 定時制

(2) 質疑応答（一部抜粋）

- ・ 挨拶・服装・部活動等については生徒自身が話し合う機会を設けてはどうか。
- ・ 身だしなみは他人のため。
- ・ 授業、課題、テストの改善については不断の取組を期待する。
- ・ 職業講話（先輩による課外授業等）は継続したい。
- ・ 「これから求められることとなる力」とは何か。教員、生徒の相互理解を求めたい。
- ・ 詰め込み教育でないところに高校教育のよさがある。高校時代の過ごし方は多様な選択肢があってもよい。
- ・ 学校行事に満足して人間を小さくしていないか、問い直しも必要。
- ・ コスパ、タイパに対して、「誰一人取り残さない」という考え方がある。いろいろな立場があることを受け入れ、議論できる力を育みたい。それができるのが北高生。
- ・ 地域防災訓練への高校生への参加を期待したい。
- ・ いじめ、不登校の状況について。
- ・ 働き方改革について。労働か自己研鑽かという考え方も重要。
- ・ 定時制のこれまでの役割と閉課程について。企業の反応、学食の今後について。

(3) 各項目における学校関係者評価の決定

3 その他

- (1) 令和7年度委員の委嘱について
- (2) 令和7年度協議会の日程について